

環境学科 E N S

Department of Environmental Science

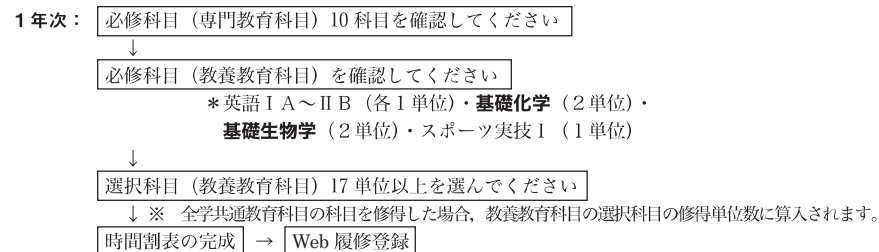
教育研究上の目的 地球環境や地域環境、生態系が日常の暮らしと調和した社会を創造できる人材や、バイオマスエネルギー開発など生物環境を科学的な観点から考察して、環境条件を持続させながら都市や社会を発展させることができる人材を養成する。

卒業の要件 環境学科の学生が卒業するために必要な単位数は、次のとおりです。
これは最低単位数ですので、これ以上の履修が望まれます。

・教養教育科目 必修科目	13 単位
選択科目	17 単位以上
・専門教育科目 必修科目	47 単位
選択科目	47 単位以上
・合計 (卒業最低単位数)	124 単位以上

進級の条件 1 年次から 2 年次へ : 30 単位以上
2 年次から 3 年次へ : 60 単位以上
3 年次から 4 年次へ : 90 単位以上

履修の方法 次の手順で自分の「時間割表」を完成してから、Web 履修登録してください。
→「履修及び諸手続」の「5 履修登録について」を参照



教職・学芸員課程の履修者は、必修科目を必ず登録してください。

2 年次 :

- 1) 専門教育科目の必修科目 : 9 科目を必ず登録してください。
- 2) 教養教育科目の必修科目 : 英語 III A ~ IV B (各 1 単位) を必ず登録してください。
- 3) 専門教育科目の選択科目 : 必要なものを選択して登録してください。
- 4) 教職・学芸員課程の履修者は、それぞれの必修科目を必ず登録してください。
- 5) 教養教育科目の選択科目 : 必要な単位数分以上選択してください。

3 年次 :

- 1) 専門教育科目の必修科目 : 3 科目および選択必修科目 2 単位を必ず登録してください。
- 2) 専門教育科目の選択科目 : 必要なものを選択して登録してください。
- 3) 教職・学芸員課程の履修者は、それぞれの必修科目を必ず登録してください。
- 4) 教養教育科目の選択科目 : 必要な単位数分以上選択してください。

4 年次 :

- 1) 専門教育科目の必修科目 : 4 科目を必ず登録してください。
- 2) 専門教育科目の選択科目 : 必要なものを選択して登録してください。
- 3) 教職・学芸員課程の履修者は、それぞれの必修科目を必ず登録してください。
- 4) 教養教育科目の選択科目 : 必要な単位数分以上選択してください。

◇再履修が必要な科目 (特に必修) は必ず登録・受講するよう計画を立ててください。

◇資格について、必修又は選択必修科目があるので注意してください。

◇選択必修科目については、51 ページを参照してください。

◇教職課程の履修者であっても専門教育科目の選択科目を 47 単位以上修得するようにしてください。

環境学科：教養教育科目・専門教育科目一覧表

		1 年 次	2 年 次	
全学共通教育科目	選択	自主創造の基礎 (2) 日本を考える (2)		
教 養 教 科 目	言語系科目	必修 英 語	英語ⅢA (1) 英語ⅢB (1) 英語ⅣA (1) 英語ⅣB (1)	
		その他の外国語	初級ドイツ語文法A (1) 初級ドイツ語会話A (1) 検定ドイツ語A (1) 初級フランス語文法A (1) 初級スペイン語文法A (1) 初級中国語文法A (1) 中級中国語文法 (1) 初級韓国語文法A (1) 日本語表現の基礎 (2) 倫理学入門 (2) 心理学入門 (2) 文化人類学入門 (2) 法学入門 (2) 政治と現代社会 (2) 歴史学入門 (2) 日本の歴史 (2)	英語ⅢA (1) 英語ⅢB (1) 英語ⅣA (1) 英語ⅣB (1) 初級ドイツ語文法B (1) 初級ドイツ語会話B (1) 検定ドイツ語B (1) 初級フランス語文法B (1) 初級スペイン語文法B (1) 初級中国語文法B (1) 中級中国語会話 (1) 初級韓国語文法B (1) 日本語Ⅱ (1) 日本の文学 (2) 倫理学の現在 (2) 行動心理学 (2) 環境の文化人類学 (2) 日本国憲法 (2) 経済学入門 (2) 社会学の現在 (2) 地理学の現在 (2)
		選択	※基礎生物学 (2) 物理学入門 (2) 基礎地球科学 (2) 地形図読取 (1)	基礎力学 (2) 統計学入門 (2) 物理学概論 (1)
		健康・スポーツ系科目	必修 スポーツ実技Ⅰ (1)	
		総合系科目	選択 データサイエンスの基礎 (2) データサイエンスの世界 (2)	情報科学 (2) 地球環境を考える (2)
	基礎専門科目	選択 海外フィールド実習 (1)		
	専 門 教 育 科 目	共通・基礎分野科目	必修	環境の法則 (2) 環境学概論 (2) 生態学 (2) 環境学基礎実験Ⅰ (1) 環境学基礎実験Ⅱ (1)
			選択	自然物質循環学 (2) 環境計測学 (2) 環境アセスメント (2) 環境計測学実習 (1) 陸域環境学 (2)
		地球環境系科目	必修	地球環境学 (2)
		選択	大気環境学 (2) 気象学 (2)	
自然環境系科目		必修	福生学 (2) 生物圏水循環学 (2) 保全生物学 (2)	土壌科学分析 (2) 水質分析法 (2) 福生生物学 (2)
		選択	土の力学 (2) 水の流れの科学 (2) 陸域保全学 (2) 土壌循環学 (2) 地城再生学 (2) 水圏環境学 (2) 河川生態学 (2)	
都市環境系科目		必修	都市環境学 (2)	福生環境学 (2)
選択		環境計画学 (2) 環境の材料と構造 (2)		
広域基礎科目		必修	生物資源科学概論 (2) 生物学概論Ⅰ (2)	生物学概論Ⅱ (2) 物理学概論Ⅰ (2) 物理学概論Ⅱ (2) 化学概論Ⅰ (2) 化学概論Ⅱ (2) 生物学実験 (2)
		選択		

(注) 教養教育科目について英語ⅠA～ⅣB及びスポーツ実技Ⅰ以外の科目は、開講年次の指定はありません。

(どの年次でも履修可能、1年次で英語ⅢA～ⅣB以外の全科目を履修可能)

教養教育科目の※印は必修科目です。

広域基礎科目は教職課程を受講する学生のみに履修登録を認めます。ただし、「生物資源科学概論」は教職課程を受講していない学生であっても、履修登録を認めます。

基礎専門科目及び広域基礎科目を修得した単位は専門教育科目の選択の単位数の中に算入されます。

(専門教育科目の選択科目の卒業要件単位数として算入されます)

		3 年 次	4 年 次	卒業に必要な単位数	
教 養 教 科 目	言語系科目	初級ドイツ語講読A (1) 中級ドイツ語講読A (1)	初級ドイツ語講読B (1) 中級ドイツ語講読B (1)	8	
		初級フランス語会話A (1) 初級スペイン語会話A (1) 初級中国語会話A (1)	初級フランス語会話B (1) 初級スペイン語会話B (1) 初級中国語会話B (1)		
		初級韓国語会話A (1)	初級韓国語会話B (1)		
		哲学入門 (2)	哲学の現在 (2)		
		個性の心理学 (2) 比較文化論 (2) 社会学入門 (2) 経済と現代社会 (2) 現代社会と福祉 (2)	比較芸術論 (2) 政治学入門 (2) 地理学入門 (2) 世界の歴史 (2)		
	必修	※基礎化学 (2) 推計学入門 (2) 総合生物学 (2)	総合地球科学 (2) 総合化学 (2) 解析学 (2)	4	
	健康・スポーツ系科目	選択	スポーツ実技Ⅳ (1)	スポーツ科学 (1)	1
	総合系科目	選択	科学史 (2) 生命倫理 (2)	科学技術と社会 (2) ポランディア論 (1)	
	基礎専門科目	選択	海外フィールド実習 (1)		
	専 門 教 育 科 目	共通・基礎分野科目	必修	環境修復学 (2) 環境学演習Ⅰ (1) 環境学演習Ⅱ (1)	環境学演習Ⅲ (1) 環境学演習Ⅳ (1) 環境学研究Ⅰ (3) 環境学研究Ⅱ (3)
選択			環境統計学 (2) 環境のリスクマネジメント (2) 専門英語 (2) 再生可能エネルギー学 (2) 環境学特別講義 (2)	環境技術者倫理 (2)	
地球環境系科目		必修	地球環境学 (2)		4
選択		大気環境学 (2) 気象学 (2)			
自然環境系科目		必修	福生学 (2) 生物圏水循環学 (2) 保全生物学 (2)	土壌科学分析 (2) 水質分析法 (2) 福生生物学 (2)	12
		選択	土の力学 (2) 水の流れの科学 (2) 陸域保全学 (2) 土壌循環学 (2) 地城再生学 (2) 水圏環境学 (2) 河川生態学 (2)		
都市環境系科目		必修	都市環境学 (2)	福生環境学 (2)	4
選択		環境計画学 (2) 環境の材料と構造 (2)			
広域基礎科目		必修	生物資源科学概論 (2) 生物学概論Ⅰ (2)	生物学概論Ⅱ (2) 物理学概論Ⅰ (2) 物理学概論Ⅱ (2) 化学概論Ⅰ (2) 化学概論Ⅱ (2) 生物学実験 (2)	124
		選択			

英語以外の母語については、留学生は母語を履修することができません。

また、日本語Ⅰ・Ⅱは留学生のみ履修できます。

専門教育科目の選択科目のうち、*を付した「地理情報リモートセンシング実習Ⅰ・Ⅱ」、「水環境学実験Ⅰ・Ⅱ」、「土壌学実験Ⅰ・Ⅱ」、「指標生物学実習Ⅰ・Ⅱ」、「環境の材料と構造実験Ⅰ・Ⅱ」、「緑地環境学実習Ⅰ・Ⅱ」、「環境アセスメント調査Ⅰ・Ⅱ」の中から、2単位を選択必修科目とします。